

# トミー協働 つうしん

発行:南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)  
 企画編集:地域づくり支援員富山担当 (FAX 0470-57-3002)  
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)  
 メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp



第4号

トミー協働つうしん

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動をしています。今月は、富山地区体育振興会(高橋嘉弘会長)をご紹介します。



富山地区体育振興会 会員数89名:平成18年3月市になり旧町村単位の体育協会が解散された後、富山地区では地区住民の体力づくりとレクリエーション活動に役立つために、体育振興会を立ち上げました。毎年、旧富山時代の町民体育大会を引き継いだふせひめ体育大会や新春ロードレースなどを主催しています。写真上は今年1月の新春ロードレースの様子です。毎年、前日の準備や当日の選手の健康管理に気を使いながらの交通整理と大会が終わるまでスタッフは大変です。

今年のふせひめ体育大会(写真下)は、10月11日にふれあいスポーツセンターで行なわれ、地区住民約800人が8ブロックによる対抗戦で熱戦を繰り広げました。  
 玉入れ競技では、子どもから大人まで夢中になって籠に玉を投げ入れていました。



「存じですか、こんな活動」



ワークショップ後B班の発表の一部 ます一人ひとりが自宅の周りをきれいにすることで

私は、二年前に「市部ボランティアチーム」に入り、今でも、いろいろな活動に参加しています。  
 現在の活動は、観音山の木々の伐採や草刈り、小中学校通学路や神社内外の草刈り、独居老人宅の訪問、エコキャップの収集、岩井海岸の月二回のごみ収集、ホタル幼虫の放流と繁殖・見学会、子ども会中心の「餅つき大会」等を行なっています。  
 これは身近な所だからですが、富山地区全体ではなかなか難しいと思います。私どものようなチームが他の地区でも出来、一緒に組めれば全体に広がると思います。



市部在住 山田和矩さん

私の考える地域づくり④

第三回目の「富山の地域づくりを考える会」が、十月十九日に富山公民館で開催されました。今回は前回に引き続き、地域で取り組めそうなテーマを絞り込む作業を行ない、更に、「自分たちが地域でできることなのか、役所と協働ですることなのか」、「すくじやれることなのか、中・長期的なことなのか」などに分けて活動計画案の作成を行いました。(詳細は2・3ページに掲載)

## 地域で取り組めそうなテーマを絞り込み 活動計画案の作成を行なう

第三回富山の地域づくりを考える会

### 地域の話

全児童からの 善意を届ける  
 ー岩井小児童会でー

岩井小学校児童会では、今年も全児童から集めた赤い羽根募金を、十月二十二日、市社会福祉協議会富山地域福祉センターに届けました。この募金は、毎年、児童会役員(五・六年生)が中心になって寄付を呼び掛けているもので、今年は、八、八八〇円の善意が集まりました。



(寄付を呼び掛けた今年の児童会役員メンバー)

### わがふるさと富山④

終戦間もない昭和二十六年四月、岩井町で岩井同人社から町の発展を願って、「岩井同人」という地方新聞が発刊されていたことをご存知でしょうか。第二号からは「麓文化」と名を改めて、毎月一回発行され、発行所も「麓社」(ぶろくしゃ)と名を変えて、無料で町民に配布されました。麓とは、富山(とみさん)の山麓岩井と平群二町村を意味しているといわれています。  
 この新聞の七月号の記事の中から、将来岩井町を背負ってたつ青壮年有志が、明朗な町づくりを目指し、「融和会」を結成したことが載っています。この会の結成準備会の中で決議事項では、「感情の対立やそれによる不安を一掃し、相助け合い、融和を促進し、町民の親善と町の発展を図ることを目標として、結成大会を開く」とあります。  
 この地元新聞や町づくりを目指す「融和会」から、町の発展を願いつつ立ち上がった若き同土諸士の意気込みが伝わってくる感じがします。

### 地元新聞

麓文化(岩井同人改め)



### 「読者の投稿コーナー」

我が家の芸達者なシェパード犬と丈夫なヤギを紹介します。(井野 川名清和さん)



我が家の自慢のペットは、シェパード犬のロンとヤギのメリーちゃんです。ロンは新聞を運んで来てくれたり、ジャガイモ掘りを手伝ったり芸達者。一方メリーちゃんは無芸大食で、丈夫だけが取り柄です。でも、一匹は仲がとってもいいです。

房日の短歌の選者をされている、山田にお住まいの戸倉篤さんからの投稿で、先月に続き山田老人会員みなさんの俳句をご紹介します。

- ・さるすべりの花に集まる蜂の数
- ・お盆です先祖の供養盆供なり
- ・千枚田色づき我が田を思い出し
- ・本堂に拝む姿のありがたさ
- ・黄金の穂どこまでつづく稲の波
- ・この暑さいつまでつづく夏ばてす
- ・さるすべりピンクあざやか寺の庭
- ・参道のかいだんのぼる足強し
- ・十五番大杉観音すずやかに
- ・お盆月墓石光る墓誌しのぶ
- ・この暑さいつまで続く要注意
- ・峰山の大国さまに手をあわす
- ・ピンク色見上げて見ればさるすべり
- ・秋が来た蟬の鳴く声遠くなり
- ・古い小屋時代かさねてこつとう物
- ・寺の庭せみの鳴く声命がけ
- ・（評）みことです。型にこだわらない、
- ・（戸倉）明日の活力になること請け合いです。

### 伏姫と八房のたわ言

皆さんは日記をつけていますか。私は五年くらい前から夜寝る前に日記をつけています。つけていていいところは、去年の今頃はどこそこに行つて楽しかったとか、こんな病気にかかりえらい目にあつたので注意をしようとか、忘れっぽい自分には記憶を助けるものとして欠かせません。また、女房と二人暮らしの今、日記を見て話題に事欠かせないことも助かります。

三橋地域づくり支援員





～D班～

○気軽に楽しめる低名山を中心とした憩いの場づくり

- ・まち歩き、ハイキング
- ・イベント（観光客のみでなく住民も参加等）

○守りたい清流（岩井川・平久里川）

- ・二つの川の源流を訪ねるウォーキング

○田んぼが育む 美しい自然と生きものと植物（ホタル・しそ）

○富山の活力『富楽里』＜次代に引き継ぐ＞

- ・地元民が楽しめる催し

○民宿の“村”

- ・組合との連携



～E班～

○モラルの低下による環境破壊

- ・花等の植栽
- ・環境美化

○安心安全な地域社会（救急と防災）

- ・自主防災組織の設立
- ・グループホーム

○若者を呼び寄せるための地域産業の振興

○自然・歴史・文化財の保存・保護

- ・花等の植栽
- ・観光ガイドの育成
- ・現状調査

○人口減少と高齢化

# シール投票の結果11の活動計画案が 決まる -第3回富山の地域づくりを考える会-

## 中・長期的に取り組みたいこと

**D班** ホタルの見える場所を増やしたり（ホタルが生息できるくらいの環境整備）水車小屋付近の環境整備をし、憩いの場にする

**E班** 各区単位に自主防災組織を設立し、避難所の確認、連絡網の整備、防災訓練を実施する



～C班～

○観光の受入態勢の充実

- ・景観整備
- ・民宿をさらに活性化
- ・インターネットや新聞広告の情報提供
- ・観光施設の新設

○豊富な歴史 伝統文化の活用

- ・ツアー企画
- ・伝統文化の活用

○すばらしい自然資源の活用

- ・登山道の整備

○豊富な農水産物の利用

- ・自慢料理（B-1 グランプリへの挑戦等）
- ・イベントを行なう

○富山学の普及

- ・富山地域を知るための検定の実施

## すぐにでも取り組めそうなこと

**A班** 安心して観光を楽しめるように、案内板を設置する  
あわせて観光スポットをPRする

**A班** おいしい農産物・海産物を使って加工場でグルメづくり

**A班** 国保病院と老人施設があって安心  
草刈りなどの管理の手助けをする

**C班** すばらしい自然資源の活用  
登山道の整備（草刈り、椅子・テーブル備品の修理）

**C班** 豊富な歴史、伝統文化の活用  
里見八犬伝（館山にお株が奪われている）など

**C班** 観光の受入態勢の充実  
四季を通じての畑一面の〇〇〇

**D班** 外の人を呼びよるよりもまずは地元の人を楽しむ事を目的とし「岩井駅から富山地区を全部！歩けるコースづくりをする」

◆ゲーム性（スタンプラリー・なぜなぜ・クイズ）を取り入れ、各地域や名水等のいわれ（由来）をつけてPRし、四季の魅力を入れたコースを作ろう

- 春：桜の花見
- 夏：ホタル観賞と様々な光（エレクトロカル）イベント
- 秋：月見会 ●冬：水仙ロード（二部区）

**E班** モラルの低下による環境破壊を防止するため環境美化活動を推進する  
・桜の植樹や季節を彩る花々を植える活動を実践する

**E班** 美しい自然を守るため里山・道路・河川・海岸に花や野草などを植栽し、緑化の推進と保護を実施する

今回の富山の地域づくりを考える会は、前回出された二十三個の重要テーマに対して、テーマを解決するには、どうしたらいいの？「課題の解決策を見つめる」、「市民に出来ることを絞り込む」を目的にワークショップを行いました。

A班からE班まで、皆さんそれぞれが提案した付箋に書かれた取り組みを、「自分たちや地域で出来ることなのか」「役所と協働できることなのか」「や「すぐに取り組みそうなこと」「中・長期的な取り組み」に分けて、自分の想いを言葉に出しながら、新たな模造紙に貼っていく作業を行いました。

そしてシール投票を行ない、B班を除いて十一の活動計画案が決まりました。なお、B班の活動計画案は、四回目を考える会冒頭で決定の予定です。

## 重要テーマごとの個々の意見を集約して紹介します

～A班～

○祭りを始め、歴史文化遺産に恵まれている

- ・文化遺産を千葉テレビ等を利用してP・R
- ・合同祭の実施・観光の視点で祭り

○ボランティア活動が盛んである

- ・ひとり住まいの方の給食ボランティア

○海・山の安心 気軽に利用できる観光資源がある

- ・案内板等の整備・観光スポットの紹介
- ・農業・酪農体験を実施

○おいしい農産物・海産物がたくさんある

- ・加工場でグルメ作り・地元食材の活用
- ・富楽里ブランドをつくる
- ・八犬伝をテーマに

○国保病院と老人施設があって安心

- ・病院等の美化



～B班～

○地域の環境美化

- ・自主的に活動する
- ・イベントを行なう
- ・ボランティアに参加する

○安心安全社会にしよう

- ・隣同士声をかけ合ったり、公民館活動に参加
- ・すべての人が安心安全の確認をする

○高齢化（者）へのサポート問題

- ・高齢者を支えるまちづくり

※考える会の概要は、南房総市のホームページ内「みんなネット」にも掲載されます。

南房総 みんなネット